

# INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 広報・IRグループ 東京都新宿区西新宿 2-4-1 03(3349)8088 (直通)

平成22年6月24日

生物多様性に配慮した木材調達方針

## ミサワホーム「木材調達ガイドライン」を策定

- W W F ジャパンのチェックリストを活用
- 調達方針にもとづく目標と計画も策定
- 2014年度までに認証木材比率70%を目指す

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長 竹中宣雄）は、木質系工業化住宅の No.1 メーカーとして多くの森林資源を利用していますが、このたび、木材の責任ある調達を約束する姿勢を公表し、地球規模で求められている生物多様性の保全という社会的責任を果たすことを目的に、木材調達方針などをまとめた、独自の「木材調達ガイドライン」を策定いたしました。

本年10月に生物多様性条約第10回締約国会議（略称：COP10）が名古屋で開催されます。「生物多様性」とは、生態系、種、遺伝子などすべてを含めて、地球上の生物の多様さと自然の営みの豊かさを表した言葉です。

世界の森林は、毎年およそ1,300万ヘクタールずつ減少しているといわれています。この原因の一つは、木材・紙の原料や、燃料として使用するための森林資源が適切に管理されていないことにあります。その端的な例が原産地の法令に反した違法伐採で、W W F（世界自然保護基金）では日本が輸入する林産物製品の6～20%が違法伐採に関連していると推計しています。

森林資源を利用する企業には、自社が使用する木材や紙の原料がどこの森林からどのように伐採されたのかを確認し、森林破壊に加担しないような木材製品を積極的に購入する「責任ある林産物の購入」が求められています。

ミサワホームでは木質系住宅の構造材として原木換算で年間約47万m<sup>3</sup>の木材を使用しています（2009年実績）。計画植林・計画伐採を政策として掲げている環境先進国フィンランドで国際的な森林認証プログラム PEFC の CoC 認証を取得した製材工場からパネル用芯材を調達しています。今回策定した木材調達ガイドラインは大量な木材を利用する企業として、木材の責任ある調達を約束する姿勢を公表し、地球規模で求められている生物多様性の保全という社会的責任をより一層果たすことを目的としています。

また、木材調達ガイドラインでは調達方針を確実なものとするため、木質系工業化住宅の構造体を対象とした3段階のレベルの目標を設定、さらにこれらの確認・評価方法としてW W F ジャパンが作成公開している「林産物調達チェックリスト」を使用しています。

ミサワホームではこの木材調達ガイドラインにもとづき掲げた、2014年度までに森林認証を受けた木材の使用比率（認証過程材を含む）70%を達成するために、仕入先企業と連携した活動を実施していきます。

## ■ 木材の調達方針

私たちは次のような木材を調達しません。

1. 生態系に悪影響を与える木材
2. 絶滅の恐れがある樹種(絶滅危惧種)を使用した木材

私たちは次のような木材を積極的に調達します。

1. 森林供給源が特定された木材
2. 伐採権が確認された木材
3. 森林認証を受けた木材

これらの方針を達成するため、私たちミサワホームは

1. 調達する木材の供給源や伐採時の状況に関する情報を集めると共に、木材の仕入先を調査します。
2. 調達する木材の加工・流通過程の管理に関する情報を集めます。
3. 毎年のレビュー、報告書、仕入先と合意した活動を通じて、方針遵守レベルを継続的に上げていきます。
4. 活動の年間目標を設定し、公表します。

## ■ ミサワホームの木材使用状況

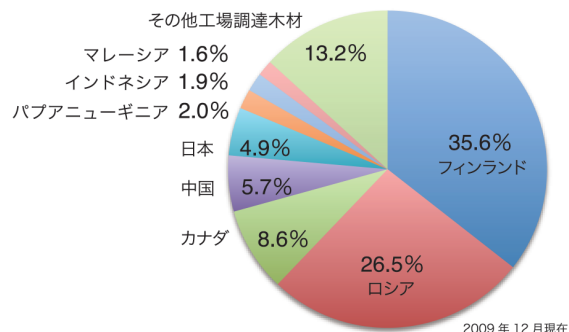
木質系工業化住宅 1 棟あたりの木材使用量

木材区分		棟当たり使用量
構造体	パネル用芯材	9.3 m <sup>3</sup> /棟
	パネル用合板	6.3 m <sup>3</sup> /棟
	集成材・LVL	1.1 m <sup>3</sup> /棟
	その他部材 (土台、半土台、梁受補強合板、胴差、棟木)	2.6 m <sup>3</sup> /棟
	構造体以外 (仕上げ・造作材など)	1.3 m <sup>3</sup> /棟
合計		20.6 m <sup>3</sup> /棟

※ 平均延床面積 125.8 m<sup>2</sup>

2009年12月実績

ミサワホームの木材調達先比率



## ■ 木材調達における目標と計画

**Level 1 供給源の特定** : 森林供給源まで遡ったサプライチェーンを明確にするため仕入先に調査を実施し、2010年度までに供給源を100%特定する。

**Level 2 伐採権の確認** : 森林供給源の合法性を検証し、2011年度までに伐採権を100%確認する。

**Level 3 認証材の使用** : 森林認証を受けた木材(認証過程材を含む)の使用比率を2014年度までに70%とする。

※目標の%設定は木質系工業化住宅の構造体に使用する木材の総量 (m<sup>3</sup>) により算出

## ■ 木材調達ガイドライン策定にあたり

ミサワホームでは今回策定した木材調達方針などの内容をまとめたパンフレット「ミサワホームの木材調達ガイドライン」（A4版、観音折8ページ）を作成・配布するほか、自社のホームページにも掲載して広く公開しています。

HPアドレス：<http://www.misawa.co.jp/chotatsu/>

また、ガイドライン策定にあたっては、COP10支援実行委員会アドバイザーを務めるなど、生物多様性の保全に取り組まれている名古屋市立大学院経済学研究科准教授の香坂玲（こうさか りょう）氏と、WWFジャパン自然保護室森林担当プロジェクトリーダーの橋本務太（はしもと むたい）氏のお二人にアドバイスを仰ぎ、コメントをいただくなどのご協力を得ています。

## ■ WWFについて

WWFは世界自然保護基金（World Wide Fund for Nature）の略称で、約100カ国で活動している地球環境保全団体です。1961年にスイスで設立されました。地球上の生物多様性の保全と、人の暮らしが自然環境や野生生物に与えている負荷の軽減を柱として活動しています。現在、特に力を注いでいるのは、森や海などの生態系を保全すること、木材や魚介類など、自然資源の利用を持続可能なものにすること、地球温暖化を防ぐことです。WWFジャパンは1971年に設立され、日本国内および日本が関係している国際的な問題に取り組んでいます。

## ■ WWF ジャパン「林産物調達チェックリスト」

「林産物調達チェックリスト」は、紙や木材製品に使われている木を生産する森林について、環境面、社会面、経済面などにおいて配慮すべき項目とそれぞれの確認方法を示し、「責任ある調達」を促すためにWWFジャパンが開発したツールです。製品の履歴を遡って原産地の森林の状況について把握する「トレーサビリティ」と、その森林で行なわれている「管理の適切性」を確認し、その結果をS～Eの6段階で評価します。

以上

※ 本リリースはWWFジャパンのご協力で農林水産省農政クラブおよび環境省記者クラブにも配布しています。

WWF ジャパン Web リリース：<http://www.wwf.or.jp/activities/2010/06/840025.html>  
(6月25日開設予定)

\* この件に関するお問い合わせ先

ミサワホーム㈱ 経営企画部 広報・IRグループ

中村 孝

TEL：03-3349-8088

E-MAIL：Takashi\_Nakamura@home.misawa.co.jp